

カナダ

Canada

		2006年	2007年	2008年
		④実質GDP成長率(%)	2.8	2.7
		⑤貿易収支(カナダ・ドル)	494億7,980万	480億4,570万
		⑥経常収支(カナダ・ドル)	203億3,300万	156億600万
		⑦外貨準備高(米ドル)	349億9,400万	409億9,100万
		⑧為替レート(1米ドルにつき、カナダ・ドル、期中平均)	1.134	1.074
				1.067
		[注] ①: 推計値、④: カナダは2007年の統計から実質値の基準年をそれまでの97年から2002年に変更したが、本書では2002年基準での数値と している		
[出所] ①②④~⑥: カナダ統計局、③カナダ統計局データよりジェトロ計算、⑦⑧: IMF (IFS)				

2008年のカナダ経済は、資源ブームに沸いた上半期から一転、世界同時不況の影響を受け第4四半期に急激に落ち込み、通年で0.5%の低成長にとどまった。30年以上にわたって続いた貿易黒字は、主要輸出品目である原油価格の下落により減少、12月には76年以来の貿易赤字に転落した。政府は米州や欧州地域を中心に自由貿易協定(FTA)交渉を加速化させている。

■米景気の影響濃く、景気後退入り

米国の景気後退の影響を受けながらも、2008年第3四半期までプラス成長と底堅さを維持してきたカナダ経済は、第4四半期に入り実質GDP成長率がマイナス3.4%と急速に落ち込み、カナダ中央銀行は2009年1月、景気後退入りを発表した。輸出の極端な落ち込みに加え、GDPの約6割を占める景気を下支えしてきた個人消費が減速した。その結果、成長率は2008年通年では、2007年の2.7%から大幅に落ち込み、0.5%となった。

特に成長の足を引っ張ったのが、対米輸出と、調整段階に入った民間住宅投資の2部門である。対米輸出は、自動車関連製品(前年比23.0%減)、林産品(14.2%減)が大きく落ち込み、全体で4.7%減となった。民間住宅投資は、住宅価格の下落を受け、4四半期連続のマイナスとなった。2008年第4四半期には、製造業やエネルギー分野を中心に設備投資や在庫投資も落ち込んだ。

カナダ経済を下支えしてきた個人消費も、第4四半期には前期比年率3.3%減と落ち込んだ。企業収益(税引き前)が年率で約6割減となり賃金の伸びが鈍化した上に、住宅

価格、株価などの下落に伴う含み益の減少により、消費活動が鈍化した。消費者信頼感指数は歴史的な低水準まで落ち込み、製造業を中心に雇用調整が加速した。2007年10月に5.8%という74年以来の低水準を記録した失業率は、その後緩やかに上昇していたが、2009年1月には

表1 カナダの主要国・地域別輸出入 <通関ベース>

(単位: 100万Cドル、%)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (FOB)			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
N A F T A	337,560	358,460	78.7	6.2	237,689	244,945	56.5	3.1
米 国	333,257	353,306	77.6	6.0	220,512	227,039	52.4	3.0
メ キ シ コ	4,303	5,155	1.1	19.8	17,176	17,905	4.1	4.2
E U 25	31,285	33,843	7.4	8.2	49,045	53,797	12.4	9.7
英 国	11,387	12,428	2.7	9.1	11,469	12,598	2.9	9.8
ド イ ツ	3,461	4,085	0.9	18.0	11,533	12,711	2.9	10.2
フ ラ ン ス	2,776	2,990	0.7	7.7	5,092	5,938	1.4	16.6
イ タ リ ア	2,464	2,230	0.5	△9.5	5,052	5,116	1.2	1.3
そ の 他	11,197	12,110	2.7	8.2	15,899	5,118	1.2	△67.8
日 本	8,940	10,889	2.4	21.8	15,458	15,288	3.5	△1.1
東 ア ジ ア	18,235	21,280	4.7	16.7	57,543	62,851	14.5	9.2
中 国	9,016	10,081	2.2	11.8	38,305	42,620	9.8	11.3
韓 国	2,901	3,739	0.8	28.9	5,364	6,001	1.4	11.9
台 湾	1,483	1,508	0.3	1.6	3,897	3,972	0.9	1.9
香 港	1,324	1,579	0.3	19.2	532	465	0.1	△12.6
A S E A N	3,510	4,373	1.0	24.6	9,444	9,792	2.3	3.7
イ ン ド ネ シ ア	973	1,423	0.3	46.3	994	1,079	0.2	8.6
シ ン ガ ポ ー ル	718	676	0.1	△5.9	1,493	1,246	0.3	△16.5
タ イ	541	661	0.1	22.0	2,298	2,489	0.6	8.3
マ レ ー シ ア	531	780	0.2	46.8	2,917	2,924	0.7	0.3
フィリピン	429	525	0.1	22.4	766	823	0.2	7.4
イ ン ド	1,712	2,324	0.5	35.7	1,980	2,202	0.5	11.2
オーストラリア	1,597	1,963	0.4	23.0	1,780	1,650	0.4	△7.3
世 界 計	420,275	455,365	100.0	8.4	406,988	433,431	100.0	6.5

〔注〕表2とも、輸出は再輸出を除いた数値。

〔出所〕表2、7とも、カナダ統計局、ワールド・トレード・アトラス。

7.2%, 3月には8.0%にまで達するなど2009年に入り、急激に上昇した。

2009年第2四半期に入り、雇用指数、住宅許可件数などの先行指標でやや景気回復の兆しがみられるものの、製造業の不振は深刻で、2009年は確実にマイナス成長に陥る見通した。問題は景気後退の深さと長さだが、中央銀行は2009年の実質GDP成長率をマイナス3.0%とするものの、2010年の第1四半期にはプラスに転じると予測している。

■輸出一貿易収支が76年以來の単月赤字に

2008年の貿易（再輸出除く、通関ベース）は、輸出が4,554億カナダ・ドル（以下、Cドル。前年比8.4%増）、輸入が4,334億Cドル（6.5%増）となり、貿易収支は219億Cドル（65.1%増）の黒字だった。通年では黒字幅が増加したが、これは2008年8月まで続いたエネルギー製品の輸出額の増加による。年後半以降、エネルギー価格が急落すると、8月の42億Cドルをピークに貿易黒字幅は急速に縮小、12月には14億Cドルの赤字に転落した。月ベースでの貿易赤字は76年以來となった。

輸出相手先を国別にみると、最大輸出国である米国向けが前年比6.0%増の3,533億Cドルとなった。自動車関連製品や機械製品などの耐久消費財は大きく落ち込んだが、価格が高騰した原油や天然ガスなどのエネルギー輸出が輸出総額を押し上げた。米国以外への輸出も大きく伸びた。特にアジア向けの石炭、小麦、カノーラなどのコモディティー製品が大きく伸び、日本、中国、韓国、ASEAN諸国を含むアジアへの輸出はシンガポールを除いて2ケタ増となった。その結果、米国の全輸出に占めるシェアは依然大きいものの、2002年の86.8%をピークに徐々に低下し、2008年には77.6%にまで低下している。また日本が中国を抜き返し、米国、英国に次ぐ3位（シェア2.4%）となった。

■輸入一2位の中国は引き続き2ケタ増

2008年の輸入は前年比6.5%増の4,334億Cドルとなった。国別にみると、輸入総額の52.4%を占める米国からは、原油関連製品やレアメタル、鉄鋼製品などが堅調に伸びたが、自動車関連製品の不振が響き、全体では前年比

表2 カナダの主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位：100万Cドル、%)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (FOB)			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
鉱物性生産品 (25-27)	99,819	142,047	31.2	42.3	41,760	57,495	13.3	37.7
自動車および関連部品 (87)	67,133	52,589	11.5	△21.7	68,735	63,252	14.6	△8.0
卑金属 (72-83)	45,464	43,242	9.5	△4.9	29,906	32,546	7.5	8.8
一般機械 (84)	31,358	31,908	7.0	1.8	62,545	63,543	14.7	1.6
化学工業生産品 (28-38)	26,211	30,017	6.6	14.5	34,654	36,280	8.4	4.7
動物性および植物性生産品 (01-14)	24,029	30,267	6.6	26.0	12,204	13,413	3.1	9.9
パルプなど (47-49)	21,679	21,672	4.8	△0.0	10,190	10,388	2.4	1.9
プラスチック・ゴム (39, 40)	16,729	16,413	3.6	△1.9	18,999	19,821	4.6	4.3
電気機器 (85)	15,219	14,835	3.3	△2.5	40,573	42,410	9.8	4.5
木材など (44-46)	13,439	9,777	2.1	△27.2	3,610	3,428	0.8	△5.0
航空機および関連部品 (88)	10,031	9,634	2.1	△4.0	7,534	7,453	1.7	△1.1
食料品、飲料など (16-24)	9,042	9,350	2.1	3.4	13,035	14,531	3.4	11.5
家具・玩具など (94-96)	7,037	6,108	1.3	△13.2	13,474	14,050	3.2	4.3
精密機器など (90-92)	4,590	4,944	1.1	7.7	11,661	12,284	2.8	5.3
繊維および関連製品 (50-63)	3,624	2,921	0.6	△19.4	12,359	12,670	2.9	2.5
その他 (上記以外)	24,871	29,642	6.5	19.2	25,750	29,865	6.9	16.0
合 計	420,275	455,365	100.0	8.4	406,988	433,431	100.0	6.5

[注] 表7とも、カッコ内はHSコード。

3.0%の微増にとどまった。輸入の伸びを押し上げたのが、前年に引き続き2位の中国で、11.3%増と2ケタの伸びを維持している。携帯電話などの電気機器が10.6%増と順調に伸びたほか、テレビゲームなどの玩具やスポーツ用品も14.4%増と引き続き伸びた。そのほか、輸出と同じくEU諸国や東アジアからの輸入が伸び、輸入全体に占める米国のシェアは近年では98年の68.2%をピークに低下傾向にある。

品目別にみると、過去5年にわたり最大の輸入品目だった自動車および関連製品が、自動車部品やトラックの輸入減により前年比8.0%減（シェア14.6%）と落ち込み、代わりに鉱物性生産品や卑金属などが伸びた。

■金融・保険分野が伸び、対外投資は過去最高へ

2008年の対外直接投資は前年比39.0%増の803億Cドルと過去最高を記録した。トロント・ドミニオン銀行の米コマース・バンコーポ買収にみられるように、カナダ企業の米金融・保険業界への投資が伸び、金融・保険分野への投資は51.7%増の523億Cドルとなった。金融危機により米国などの外資系金融機関の資金の流動性が悪化したため、比較的健全なカナダの金融機関が買収や株式取得といったかたちで支援に乗り出したことを反映している。特に米国への対外直接投資が53.3%増と飛躍的に伸び、投資総額の66.9%を占めた。

■資源ブームの終焉で対内投資は大幅減

2008年の対内直接投資は前年比58.0%減の490億Cドルとなった。近年は資源・エネルギー分野を中心とする

大型M&Aの件数が増加傾向にあり、対内直接投資額は2005年に増加に転じて以来、2006年（117.9%増）、2007年（63.9%増）と急伸してきた。しかし、2008年は牽引役のエネルギー・鉱産物が63.8%減と大きく減少したほか、金融・保険、サービス・商業なども落ち込んだ。特に、機械・輸送機器は自動車部品を中心とする米系企業が生産拠点を自国に集約したため、23億Cドルの流出となつた。

国・地域別では米国、EUなど主要先進国で軒並み落ち込んだが、日本はホンダのエンジン工場稼働開始、トヨタの第2工場（「RAV4」を生産）稼働開始や、これらに伴う日系自動車部品メーカーの進出が相次ぎ、前年比28.6%増の10億Cドルとなつた。

表3 カナダの対外直接投資＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万Cドル、%)

		2007年		2008年		2007年末	
		金額	構成比	金額	構成比	伸び率	残高
国・地域別	米国	35,059	53.759	66.9	53.3	226,147	44.0
	英國	3,690	2,453	3.1	△33.5	54,600	10.6
	EU	25	1,456	1,453	1.8	△0.2	68,168
	日本	△125	△19	△0.0	n.a.	3,574	0.7
	O E C D 諸国	5,011	606	0.8	△87.9	25,967	5.0
	その他の	12,713	22,082	27.5	73.7	136,084	26.4
業種別	木材・紙	1,060	1,290	1.6	21.7	9,234	1.8
	エネルギー・鉱産物	13,828	12,505	15.6	△9.6	114,453	22.2
	機械・輸送機器	△317	△1,008	△1.3	n.a.	19,163	3.7
	金融・保険	34,467	52,288	65.1	51.7	248,790	48.4
	サービス・商業	1,597	3,518	4.4	120.3	64,400	12.5
	その他の	7,171	11,741	14.6	63.7	58,501	11.4
	合計	57,806	80,334	100.0	39.0	514,540	100.0

〔注〕表5とも、EU 25は英国を除く。OECD諸国は米国、英国、EU、日本を除く。

〔出所〕表5とも、カナダ統計局「Canada's Balance of International Payments, Fourth Quarter 2008」。

■ EUとのFTAで輸出先の多角化目指す

カナダは農水産品輸出国として、WTOドーハ・ラウンドの妥結を最優先課題に掲げてきた。しかし、2006年1月に保守党政権が誕生してから、少数与党として不安定な政権運営を強いられるものの、次善の策として米州・欧州を中心に二国間貿易協定を積極的に推進する方向へとかじを切っている。欧州とは2009年7月にEFTAとのFTAが発効した。米州とは現政権では、既にコロンビア、ペルーとのFTAに署名している上、パナマ、ドミニカ共和国などとも交渉を進めている。

2009年5月にはEUとのFTA交渉が包括的経済連携協定に向けた交渉というかたちで開始され、2011年までの早期合意を目指している。サービスを含むEU25への輸出額は341億Cドル（シェア7.5%）、EU25からの輸入額は540億Cドル（シェア9.6%）で、EUはカナダにとって米国に次ぎ2番目の輸出市場である。米国の深刻な景

表5 カナダの対内直接投資＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万Cドル、%)

		2007年		2008年		2007年末	
		金額	構成比	金額	構成比	伸び率	残高
国・地域別	米国	39,707	20,518	41.9	△48.3	288,631	57.6
	英國	28,757	1,324	2.7	△95.4	54,760	10.9
	EU	25	32,104	10,635	21.7	△66.9	84,307
	日本	783	1,007	2.1	28.6	13,410	2.7
	O E C D 諸国	3,807	3,621	7.4	△4.9	22,859	4.6
	その他の	11,547	11,904	24.3	3.1	36,883	7.4
業種別	木材・紙	3,022	△11	△0.0	n.a.	17,309	3.5
	エネルギー・鉱産物	65,104	23,581	48.1	△63.8	151,776	30.3
	機械・輸送機器	7,012	△2,258	△4.6	n.a.	51,937	10.4
	金融・保険	20,942	5,755	11.7	△72.5	103,228	20.6
	サービス・商業	8,953	6,252	12.8	△30.2	51,483	10.3
	その他の	11,673	15,692	32.0	34.4	125,117	25.0
	合計	116,706	49,010	100.0	△58.0	500,851	100.0

表4 カナダ企業の大型対外M&A案件（2008年、10億米ドル以上の取引）

(単位：100万米ドル)

買収企業	業種	被買収企業	国籍	業種	取引額	取引完了月
Thomson Corp	情報関連サービス	Reuters Group PLC	英国	情報関連サービス	18,266	4月
Toronto-Dominion Bank	銀行	Commerce Bancorp	米国	商業銀行	8,638	3月
Agrium Inc	工業用無機化学	UAP Holding Corp	米国	肥料	2,802	5月
TransCanada Corp	天然ガス関連サービス	National Grid PLC-Ravenswood	米国	電気関連サービス	2,800	8月
Royal Bank of Canada	銀行	RBTT Financial Holdings Ltd	トリニダード・トバゴ	銀行	2,235	6月
Hancock Timber Resource Grp	金融サービス	TimberStar-900,000 Acre Port	米国	ビジネスサービス	1,710	4月
Barrick Gold Corp	金鉱石採掘	Cortez Gold Mine	米国	金鉱石採掘	1,695	3月
RBC Centura Banks Inc	商業銀行	Alabama National BanCorp	米国	商業銀行	1,642	2月
Precision Drilling Trust	原油・天然ガス掘削サービス	Grey Wolf Inc	米国	原油・天然ガス掘削サービス	1,585	12月
Investor Group	金融サービス	Saesha	チリ	電気関連サービス	1,287	7月
Texas Transmission Invest LLC	金融サービス	Oncor Electric Delivery Co LLC	米国	電気関連サービス	1,254	11月

〔注〕被買収企業の国籍は、グループ統括企業の国籍ではなく、当該企業の国籍を表記している。

〔出所〕表6とも、トムソン・ロイターのデータから作成。

表6 外国企業によるカナダ企業の大型M&A案件（2008年、10億米ドル以上の取引）

(単位：100万米ドル)

買収企業	国籍	業種	被買収企業	業種	取引額	取引完了月
Shell Canada Ltd	オランダ	原油・天然ガス採掘	Duvernay Oil Corp	原油・天然ガス採掘	5,831	8月
TAQA	アラブ首長国連邦	電気サービス	PrimeWest Energy Trust	原油・天然ガス採掘	4,558	1月
IBM	米国	コンピュータ・プログラム・サービス	Cognos Inc	ソフトウェア・サービス	4,487	1月
Evraz Group SA	ロシア	製鋼ほか	IPSCO Inc-Canadian Tubular Op	鋼管製造	4,025	6月
First Reserve Corp	米国	投資事業	CHC Helicopter Corp	航空輸送	2,217	9月
Philip Morris Intl Inc	米国	たばこ	Rothmans Inc	たばこ	1,972	9月
Sinopec	中国	石油精製	Tanganyika Oil Co Ltd	原油・天然ガス採掘	1,929	12月
Yara International ASA	ノルウェー	窒素肥料	Saskferco Products Inc	窒素肥料	1,590	10月
1413281 Alberta ULC	米国	投資事業	Gibson Energy Holdings Ltd	天然ガス輸送	1,218	12月
Newmont Mining Corp	米国	金鉱石採掘	Miramar Mining Corp	金鉱石採掘	1,189	1月
ENI SpA	イタリア	原油・天然ガス採掘	First Calgary Petroleum Ltd	原油・天然ガス採掘	1,174	11月
Severstal Resources	ロシア	鉄鉱石採掘	Penfold Capital Acq Corp	金融サービス	1,115	10月

〔注〕国籍は、買収企業が企業グループ一員であるときはグループ統括企業の国籍を表記している。

表7 カナダの対日主要品目別輸出入＜通関ベース＞

(単位：100万Cドル、%)

	輸出(FOB)				輸入(FOB)			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
動物性および植物性生産品 (01-14)	2,812	3,718	34.1	32.2	29	28	0.2	△1.4
鉱物性生産品 (25-27)	2,123	3,372	31.0	58.9	167	57	0.4	△65.9
卑金属 (72-83)	1,104	1,046	9.6	△5.3	739	935	6.1	26.6
木材など (44-46)	1,034	999	9.2	△3.3	2	2	0.0	△11.0
パルプなど (47-49)	477	436	4.0	△8.6	56	50	0.3	△10.5
化学工業生産品 (28-38)	255	311	2.9	22.1	426	365	2.4	△14.3
一般機械 (84)	210	192	1.8	△8.6	3,436	3,298	21.6	△4.0
航空機および関連部品 (88)	171	107	1.0	△37.3	465	412	2.7	△11.4
電気機器 (85)	151	119	1.1	△21.4	1,969	2,120	13.9	7.7
食料品、飲料など (16-24)	131	122	1.1	△6.5	32	37	0.2	15.9
精密機器など (90-92)	102	103	0.9	1.0	625	648	4.2	3.7
家具・玩具など (94-96)	80	45	0.4	△44.2	203	207	1.4	2.1
プラスチック・ゴム (39-40)	55	68	0.6	25.0	504	506	3.3	0.3
自動車および関連部品 (87)	43	32	0.3	△26.5	6,647	6,481	42.4	△2.5
繊維および関連製品 (50-63)	15	16	0.1	2.0	59	56	0.4	△3.9
その他 (上記以外)	178	202	1.9	13.8	99	88	0.6	△10.6
合計	8,940	10,889	100.0	21.8	15,458	15,291	100.0	△1.1

〔注〕輸出は、再輸出を除く。

気後退により、製造業を中心とした輸出が極端に落ち込んでおり、政府としてはEUとのFTA締結により輸出先の多角化を図りたい考えだ。

■自動車不振により対日輸入は減少傾向に

2008年の対日輸出は前年比21.8%増の109億Cドルとなった。輸出額で最も大きな伸びをみせたのは鉱物性生産品だが、これは製鉄用原料炭の価格が改定により引き上げられたことが原因で、数量的には大きな伸びはない。また、ほかの諸国が干ばつで不作だったカノーラ、小麦が国内で豊作だったことが影響し、それぞれ76.0%増、56.3%増と飛躍的に伸びた。

対日輸入は1.1%減とほぼ横ばいだった。全体の約4割

を占める自動車および関連部品は、第4四半期に北米自動車需要の低迷により落ち込んだものの、通年では2.5%減とほぼ横ばいを維持した。第3四半期まで燃費の良い小型車が好調だったことから、乗用車は通年で0.3%増とかろうじてプラスを維持した。